

作成日：2021年12月28日

日時	2021年12月17日（金）14:00～17:00	司会	大西
場所	Zoom を利用したオンライン会議	書記	高木
参加者	愛媛県庁健康推進課：三宅 愛媛大学医学部附属病院：小野 済生会松山病院：藤原 四国中央病院：高木 市立宇和島病院：沼田 住友別子病院：山地 松山市民病院：三谷	愛媛県立中央病院：渋谷、井上、外山 済生会今治病院：松岡、斉藤 四国がんセンター：大西、福島 十全総合病院：向井 市立八幡浜病院：高橋 HITO 病院：守屋 松山赤十字病院：三好	50音順
協議内容	<p>1. 改訂版全体について</p> <p>サポートブック P3～最終ページまでの見出し文字について</p> <p>白抜き文字だと見えにくいとの意見があった。文字か背景色を濃くしてはどうか。 →多数決の結果、見出し文字を影ありの白抜き文字とし、背景色は従来通りの淡色とする。</p> <p>表紙のデザインについて</p> <p>階段式の名残である見出しタイトルを削除し、改訂ごとに表紙の色を変えてはどうか。 →多数決により、階段式の見出しを削除する。色の変更はなし。</p> <p>目次タイトル案について</p> <p>第1回の会議にて「〇〇したい」とタイトル統一してはどうかと意見があった。 内容により、できる所とできない所がある。統一するのは難しいとの意見あり。 ショックを受けていたり、辛い気持ちのなか冊子を手にする方もいると思う。〇〇したいで揃えるよりも、シンプルでわかりやすい方がいいと思う。 →項目タイトルは、項目ごとに分かりやすい言葉で表記する。</p> <p>2. 各項目について意見交換</p> <p>はじめに（編集担当；四国がんセンター）</p> <p>第3版は、困りごとを抱えている人のイラストを使用していたが、他県の冊子では空や海、花など和やかさ、安心感を与えるイラストを使用しているところもある。 段落間隔が広く、読みにくい。 →段落間隔を詰める。空いたスペースは「みきゃん」等のイラストを挿入する。</p> <p>1. えひめのがん医療</p> <p>○がん診療連携拠点病院・推進病院</p> <p>タイトル変更なし。愛媛大学病院名が途切れており修正。</p> <p>○がん相談支援センター</p> <p>タイトル、内容変更なし。現在公認心理士もいるが、「心理療法士等」で統一。 済生会松山病院の対応時間について第1・3土曜日の12:00を12:30までに修正。</p>		

2.がんと向き合う

○正しい情報をおつめましょう

タイトル変更なし。文章構成・イラスト変更点なし。

○参考になるサイトや冊子

「がんと診断されて間もないための冊子」は来年3月頃発行予定。発行されたら掲載する。

○セカンドオピニオン

タイトル変更なし。文章構成・イラスト変更点なし。

○痛みやつらさを和らげたい～緩和ケア（編集担当；済生会今治病院・HITO 病院）

治療中でも緩和ケアが受けられることを強調したいので、「治療中につらい症状があれば…」と記載してはどうかと意見があったが、全ての患者さんが治療を受けているわけではないので、「少しでもつらい症状があれば、いつでも主治医やがん相談センターに相談ください」に変更する。

緩和ケア病棟の説明文内の「おかけの病院」を「かかりつけの病院」に変更。

HITO 病院の連絡先を「0896-29-5320」に変更。

掲載イラストは、HITO 病院広報部オリジナルのイラストで使用許可済。

掲載写真は済生会今治病院の病室画像で使用許可済。

○がんゲノム医療とは（編集担当；愛媛県立中央病院）

ページ内イラストはフリー画像使用。

松山赤十字病院の連絡先「089-926-9516」から「089-926-9630」へ変更。

「愛媛大学医学部附属病院」を「愛媛大学医学部附属病院」へ変更。

○妊孕性について（編集担当；愛媛大学医学部附属病院）

「がん治療の影響によって妊孕性が失われたり～あります」を「妊孕性が低下したり失われたりすることがあります」と変更。

EON 図内の行政の取り組み「里親・養子縁組制度」について、妊孕性のページに掲載されるのは違和感があると感じる人もいるのではないかと。

愛媛県より代替案の提示あり。来年度「妊孕性温存助成制度」を開始できるよう予算の折衝中。行政の取り組みの里親養子縁組制度の文言を残すかどうかは別途議論が必要だが、助成制度の予算がとれれば「妊孕性温存にかかる助成制度」として文言を追加してはどうか。県でION図の修正案を検討し四国がんセンターへメールする。

愛媛大学がん・生殖医療相談外来の外来曜日について、原則金曜日のみとなっているが、他の曜日も可能か。また相談費用は税込価格か確認し四国がんセンターへメールする。

3.自分らしい療養生活を考える

○治療を受けながら働きたい（編集担当；市立宇和島病院）

内容は第3版からの踏襲ではあるが、退職のネガティブなイメージが印象に残る。治療と就労の両立支援も行っているため、もう少し前向きなメッセージが必要ではないかと。

イラスト吹き出し欄の「みんなにどう思われるんだろうか」は「会社に迷惑をかけないだろうか」と似た意味なので削除。

「一度辞めれば再就職は容易ではありません」を「一人で結論を急がず、まずは相談しま

しょう」へ変更する。

相談先一覧表内の追加、修正。

愛媛県立中央病院：情報追加。就労支援コーディネーターによる就労相談。毎週月～金：8:30～17:00

済生会今治病院：月1回（予約制）時間 11:00～15:00 を追加

愛媛大学医学部附属病院：（予約制）を追加

松山市民病院：情報追加。ハローワーク松山就労支援ナビゲータによる就労相談。第三木曜日 10:00～15:00

○外見ケアについて（編集担当；松山赤十字病院）

タイトルを外見ケア（アピアランスケア）に変更とする。

文章内「人からどう見られているのか気になったり」を「人からどう見られているのか気になり」に変更。

購入費助成制度があるのは西条市だけなので西条市と明記してはどうかという意見があったが、変更なく「お住いの市町にご確認下さい」とする。

アピアランスケア用品の展示・相談実施施設 一覧表内の追加、修正

「開催日・連絡先」としたことでアピアランスケアの相談会の開催日を記載した施設や問い合わせ先を記載した施設があったため「問合せ先・連絡先」へ変更し記載内容を統一。一覧表内の追加、修正点

県立中央病院；「コロナ禍のため」を削除。「ウィッグの試着可○」を削除。

「補正下着」を「補整下着」に変更。

HITO 病院；「化学療法室」→「外来化学療法室」へ変更。

問合せ先について、各病院で再確認し、年内までに四国がんセンターへメールする。

○住み慣れた自宅で生活するために（編集担当；十全総合病院、住友別子病院）

第3版と大きな変更点なし。「若年がん患者在宅療養支援事業」を追加した。

文章内「主治医とかかりつけ医などが」を「今かかっている病院の主治医と在宅医」へ変更。「おかかりの病院～」を「かかりつけの病院」へ変更。

「在宅緩和ケアコーディネーター」について。西予市、新居浜市も来年度の整備にむけて準備中。この冊子発行時点で他の地区同等に体制が整っているかは不透明なため「他地区でも準備中です」と記載するにとどめる。

参照情報として「愛媛県在宅緩和ケア推進協議会サイト参照」と追加。

制度・サービス欄 訪問診療・訪問看護の説明文について。「医療的処置が必要な」を「医療的処置を含めて」に変更。

緩和ケアからこの項目を参照しやすいように、緩和ケアのページに「P13 参照」と追加。

参考になるサイト欄「愛媛県在宅緩和ケア推進協議会」運営を愛媛県に修正。

○療養中の上手な食事のとり方（編集担当；済生会松山病院）

文字ばかりなのでみきゃんのイラストを入れる。

○家族と一緒に過ごしたい（編集担当；市立八幡浜総合病院）

保育所の「一時預かり」を「保育所への一時預け」に変更。

タイトル「家族と一緒に過ごしたい」と本文の内容とあっていないのではないかという意

	<p>見あり。家族がいない方も増えているため「家族」に限定しないでもよいのではないか。タイトル「家族と一緒に過ごしたい」から「患者さんを支える方のために」に変更。</p> <p>○同じ経験をもつ人と話をしてみたい（患者サロン、患者会）（編集担当；オレンジの会）</p> <p>「孤独感が緩和されたり」を「緩和されることがあります」に変更。</p> <p>「知恵や工夫を知ることができます」を「知恵や工夫を共有することができます」に変更。</p> <p>サロン写真が未提出の施設、写真の修整・再提出がある場合は年内に四国がんセンターまで提出する。</p> <p>4.気になるお金のこと</p> <p>○医療費の負担を減らしたい、療養生活で役立つ制度を知りたい（編集担当；松山市民病院）</p> <p>肝がん・重度肝硬変医療費助成事業と、アスベスト関連の制度情報を追加した。</p> <p>文字量が多いため、みきゃんのイラストを挿入する。</p> <p>身体障害者手帳に「人工肛門の手術や喉頭摘出手術を受けた方も対象になります」を追加。</p> <p>「おかかりの医療機関のがん相談支援センター」を「お近くの～」に変更。</p> <p>○愛媛県内の保健所、ねんきん事務所（編集担当；四国中央病院）</p> <p>変更ないが、念の為、愛媛県三宅様にチェックしていただく。</p> <p>3. がんサポートブック発行時期について</p> <p>年度内に内容を決定し来年度発行予定。各施設に購入いただくことになるが、購入予算は来年度で予定いただくようお願いします。</p> <p>金額が決まったら後日お知らせします。</p> <p>4. がんサポートブックの配布方法について</p> <p>2021年11月26日都道府県診療連携拠点病院連絡協議会の中で、地域の療養冊子の配布方法について提言があった。</p> <p>がんと診断されて間もない方のための冊子と併せて地域の療養情報冊子を、できれば主治医から渡せる体制づくりを進めるよう提言があった。積極的に患者さんに渡せるような体制づくりをする方向になることを情報共有した。</p>
配布資料	<p>資料1) がんサポートブックえひめ第4版改訂案</p> <p>資料2) 都道府県診療連携拠点病院連絡協議会第17回情報提供・相談支援部会より抜粋</p>

議事録担当：四国中央病院